明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査

以下の質問について、就職している方はご記入又は適当と思われる項目を〇で囲んでください。 その他の方はⅡ．２をご回答ください。

Ⅰ．基礎項目　現在の就業状況についてお伺いいたします。

１．所在地　：　　都・道・府・県（事業所等の所在地）

２．従業員数：　約　　人　（企業の場合は全体の人数）

３．資本金　：　　万円（企業の方のみお答えください）

４．業種：　1. 農業、林業 2. 漁業 3. 鉱業､採石業､砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業　6. 電気、ガス、熱供給、水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業､郵便業 9. 卸売業､小売業　10. 金融業､保険業 11. 不動産業､物品賃貸業 12. 学術研究､専門・技術サービス業 13. 宿泊業､飲食サービス業 14. 生活関連サービス業､娯楽業 15. 教育､学習支援業16. 医療､福祉 17. 複合サービス事業 18. その他（　　）

Ⅱ．調査項目

１．現在の企業（団体等）に、卒業後最初に就職した。　**はい・いいえ**

「はい」と回答された方：

（１）この企業を選んだきっかけは何ですか。

大学掲示板・大学斡旋・大学企業セミナー等・教員推薦・アルバイト・一般募集広告・その他

（　　）

（２）この企業は大学での教養教育が活かせていますか。はい・いいえ

（３）この企業は大学での専門教育が活かせていますか。はい・いいえ

「いいえ」と回答された方：

（１）現在の企業は何度目の就職になりますか。2 度目・3 度目以上

（２）最初に就職した企業は何年何月に退職しましたか。

2018 年　2019 年　2020 年　2021 年　（　　月）

２．明海大学卒業生の就業力を向上させる取り組みで必要と思われるものを〇で囲んでください。（複数回答可）

（１）専門領域の知識：大学での学修成果の向上が必要。

（２）日本語コミュニケーション・スキル

（３）外国語コミュニケーション・スキル

（４）数量的スキル：自然や社会的事象を論理的に分析理解する。

（５）情報リテラシー：多様な情報を適正に判断し効果的に活用する。

（６）論理的思考力：情報や知識を複眼的、論理的に分析する。

（７）問題解決力：問題を発見し確実に解決できる。

（８）自己管理力：自らを律して行動できる。

（９）チームワーク、リーダーシップ

（10）倫理観：自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。

（11）その他（　　）

ありがとうございました。

■卒業生アンケート傾向分析【2019～2021 年度】

目的

卒業生にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

調査概要

調査対象：卒業生全員（卒業後 3 年に至る方。留学生を除く。）

調査方法：調査対象者に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2021 年度	2020 年度	2019 年度
発送数 a	584	723	639
住所不明 b	65	111	58
回収数 c	29	46	33
回収率 c/(a-b)	5.6%	7.5%	5.7%

結果の概要

・回答者の多くは東京都又は千葉県企業に就業しており、業種は多岐に渡る。

・2021 年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が減少した。

・2021 年度は転職経験者のうち 3 割が 2 回以上の転職を経験している。

・離職のタイミングは入社初年度が多く、年々早期離職の傾向にある。

・転職未経験者の多くが、就職情報サイト等外部の媒体を活用して求人情報を収集している。その一方で、大学からの斡旋により就職先を選択した卒業生も一定数おり、3 年以上継続して就業している。

・転職未経験者の半数以上が大学で学んだ専門教育及び教養教育が就職後に活かされていると感じている。

・「自己管理力」を身につけることが、就業力を向上させると考える卒業生が多い。

・就業力を向上させる取組みとして、「情報リテラシー」との回答が年々増加している。

分析・対策等

・早期離職防止のため、在学中に内定企業とのミスマッチの予防や就業に対するモチベーション維持等を目的とした個別面談等の施策が必要である。

・大学からの斡旋により就職先を選択した卒業生が一定数いることから、求人開拓や企業セミナー等のイベントを開催し、企業とのパイプ作りを強化する必要がある。

・就業先での情報リテラシーの必要性が高まっていることから、学修の基礎Ⅲをはじめとした教育の強化が必要である。

詳細

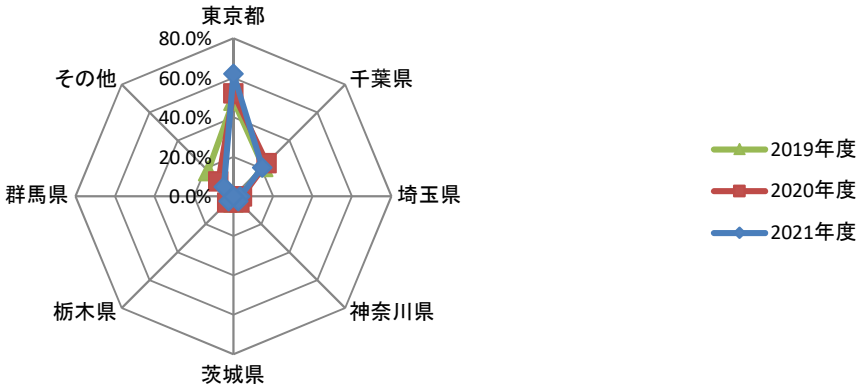
※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

1　就業状況

（1）事業所等の所在地

2021 年度は、過年度と同様に回答者の多くが本学所在地（浦安キャンパス）に近い東京都又は千葉県で就業中である。（図 1-1）

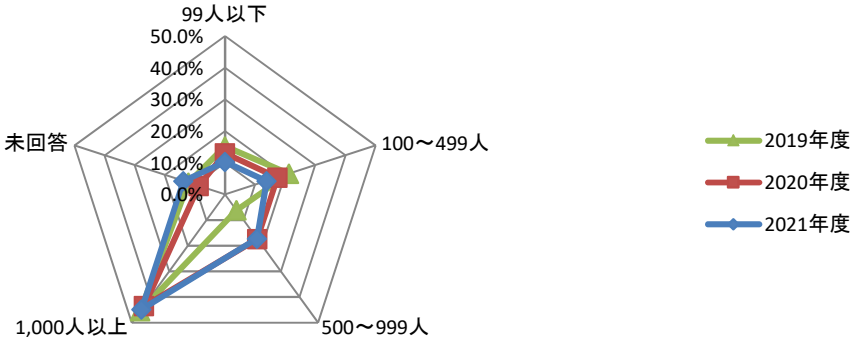
図1-1　事業所等の所在地



（2）従業員数

2021 年度は、過年度と同様に「1,000 人以上」の企業で就業している回答者が最も多かった。（図 1-2）

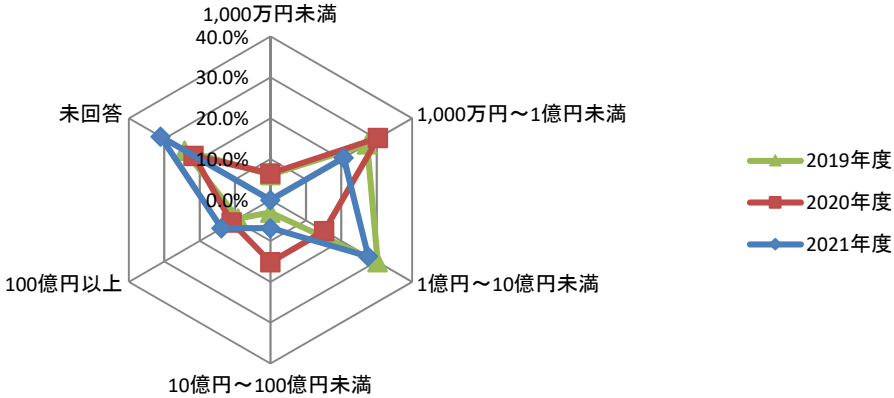
図1-2　従業員数



（3）資本金

2021 年度は「1 億円以上～10 億円未満」及び「100 億円以上」の割合が増え、過年度よりも 1 億円以上の資本金規模が大きい企業で就業している割合が増えた。（図 1-3）

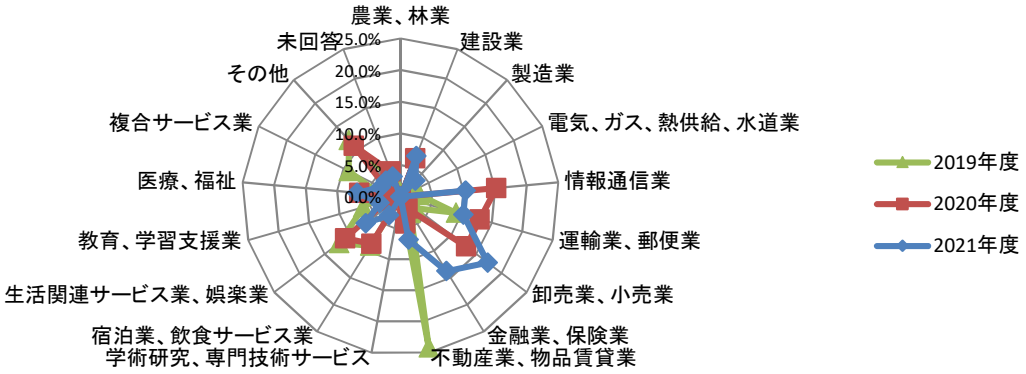
図1-3　資本金



（4）業種

過年度と同様に、様々な業種に就業しているが、2021 年度は「卸売業、小売業」に従事する卒業生が最も多かった。（図 1-4）

図1-4　業種

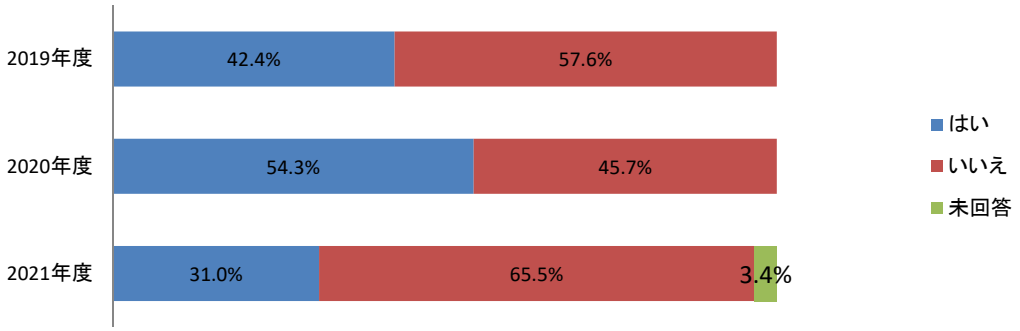


2　転職経験

（1）転職経験の有無

2021 年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が減少した。（図 2-1）

図2-1　転職経験の有無

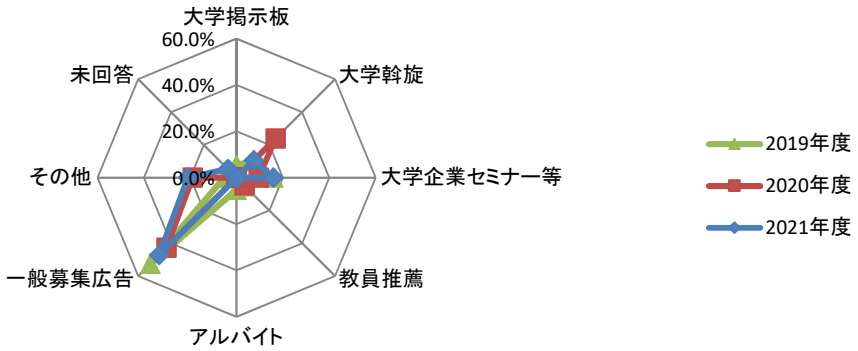


（2）転職経験「なし」回答者への設問

ア　現在の就職先を選んだきっかけ

2021 年度は、過年度と同様に就職情報サイト等外部の媒体を活用して就職先を選択した回答者が最も多かった。また、大学からの斡旋で就職先を選択した回答者は例年一定数存在し、3 か年で平均 3 割を超えている。（図 2-2）

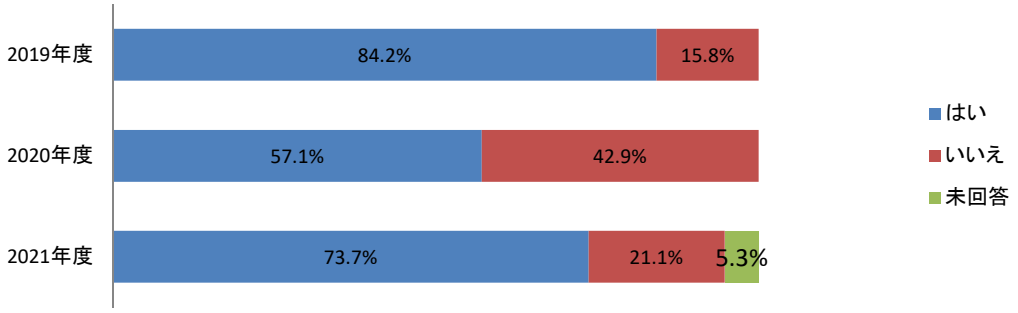
図2-2　企業選択のきっかけ



イ　大学で学んだ教養教育の活用

2020 年度は教養教育が活かせているとの回答が 6 割に満たなかったが、2021 年度は 7 割以上に増加した。（図 2-3）

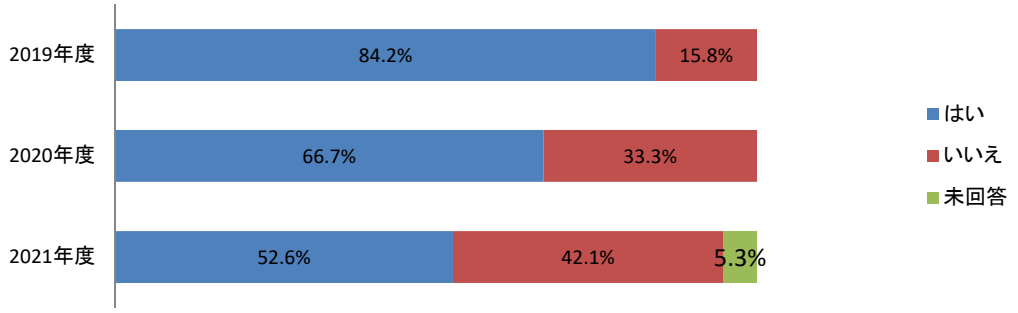
図2-3　教養教育の活用



ウ　大学で学んだ専門教育の活用

2021 年度は約半数から専門教育が活かせているとの回答があったが、その割合は年々減少している。（図 2-4）

図2-4　専門教育の活用

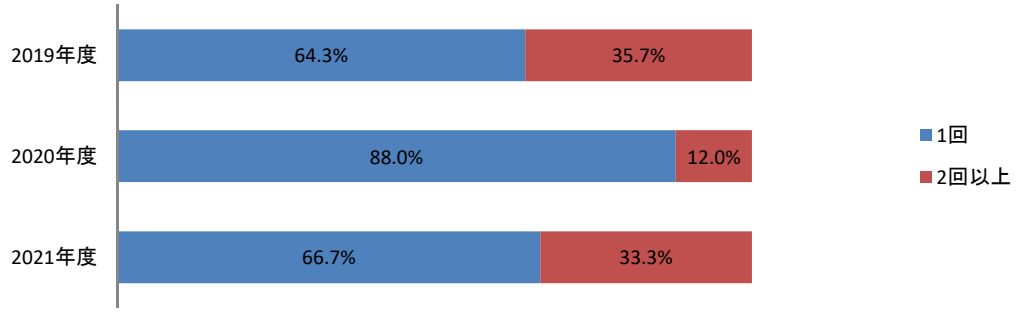


（3）転職経験「あり」回答者への設問

ア　転職回数

2020 年度は転職者のほとんどが 1 回だったが、2021 年度は 2019 年度と同様に 3 割以上が 2 回以上の転職を経験している。（図 2-5）

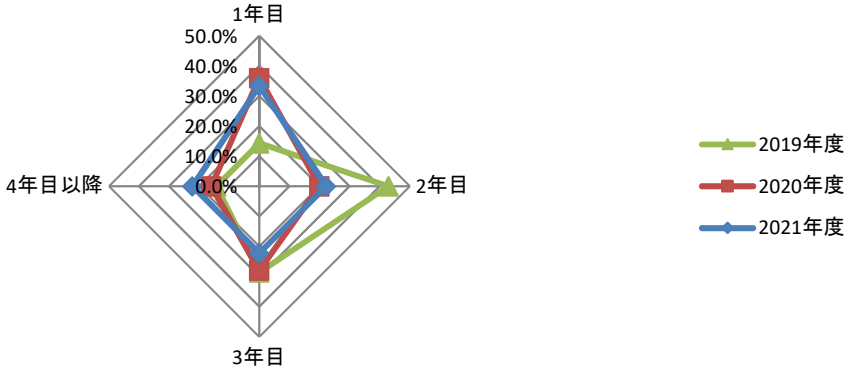
図2-5　転職回数



イ　初めての就職先を離職した時期

2019 年度は入社 2 年目の離職率が高かったが、2020 年度及び 2021 年度は入社初年度の離職率が高く、年々早期離職の傾向がみられる。（図 2-6）

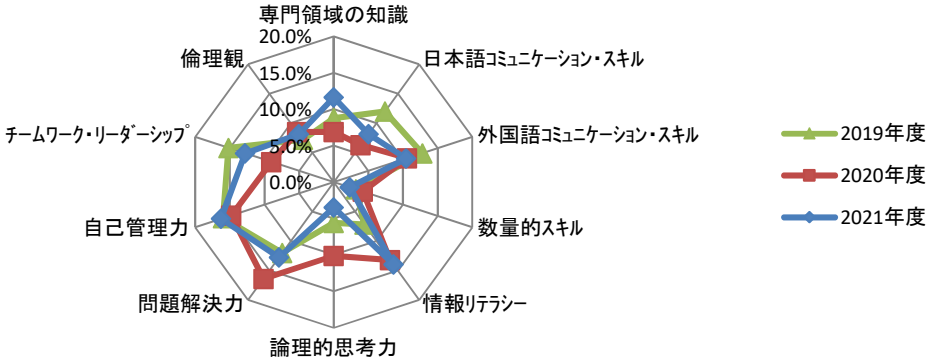
図2-6　離職の時期



3　就業力を向上させる取組み

2021 年度に最も回答が多かったのは「自己管理力」であった。一方で、「数量的スキル」は過年度と同様に最も回答が少なかった。また、「情報リテラシー」との回答は年々増加傾向にある。（図 3）

図3　就業力を向上させる取り組み



4　添付資料

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果（2021 年度）

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果（2021 年度）

1　発送対象等

2017 年度卒業生全員（卒業後 3 年に至る方。留学生を除く。）

対象者数：584 名

2　発送数・回収状況等

発送数 a	584
住所不明 b	65
回収数 c	29
回収率 c/(a-b)	5.6%

3　現在の就業状況

回答があった 29 名全員が就職している。

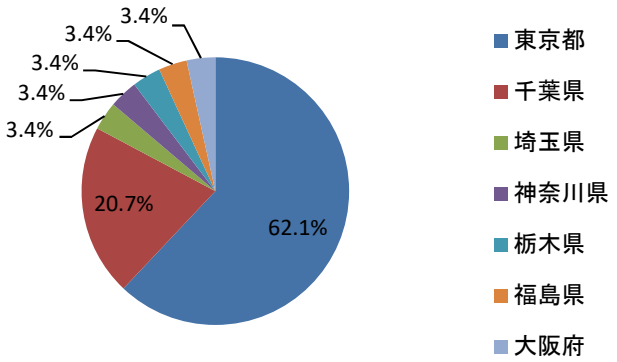
Ⅰ　基礎項目　現在の就業状況

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

1　事業所等の所在地

事業所等の所在地は、「東京都」が最も多く 18 件（62.1%）、次いで「千葉県」の 6 件（20.7%）となり、合わせると 8 割以上が本学所在地（浦安キャンパス）から近い東京都又は千葉県で就業している。

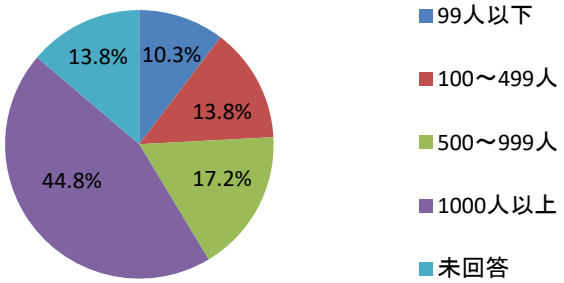
都道府県	回答数
東京都	18
千葉県	6
埼玉県	1
神奈川県	1
栃木県	1
福島県	1
大阪府	1
合計	29



2　従業員数

従業員規模別では、「1,000 人以上」が最も多く 13 件（44.8%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、15 人（東京都／生活関連サービス業、娯楽業）で、最も多かったのは、20,000 人（東京都／金融業、保険業）であった。

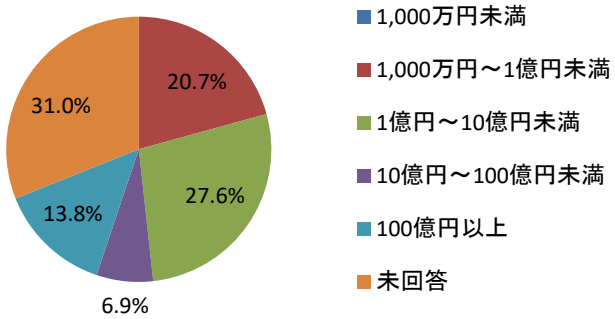
従業員数	回答数
99 人以下	3
100～499 人	4
500～999 人	5
1,000 人以上	13
未回答	4
合計	29



3　資本金

資本金規模別では、「1 億円～10 億円未満」が最も多く 8 件（27.6%）、次いで「1,000 万円～1 億円未満」の 6 件（20.7%）であった。回答のうち、資本金の最小額は 1,000 万円（東京都／情報通信業）で、最大額は 1 兆 4,040 億円（東京都／金融業、保険業）であった。

資本金	回答数
1,000 万円未満	0
1,000 万円～1 億円未満	6
1 億円～10 億円未満	8
10 億円～100 億円未満	2
100 億円以上	4
未回答	9
合計	29



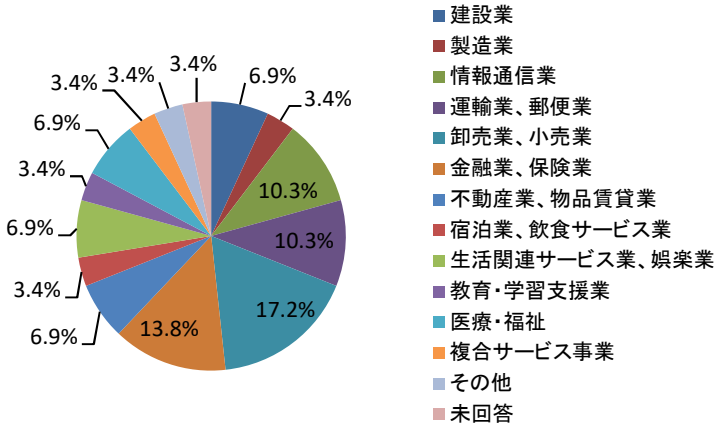
4　業種

現在就業している企業等の業種については、「その他」の回答を除き 12 業種に分布が見られた。

最も多かった業種は、「卸売業、小売業」の 5 件（17.2%）、次いで「金融業、保険業」の 4 件（13.8%）であった。なお、「その他」の業種として、公務員との回答があった。

一方、次の 5 業種「農業・林業」・「漁業」・「鉱業・採石業・砂利採取業」・「電気、ガス、熱供給、水道業」・「学術研究、専門・技術サービス業」については、該当がなかった。

業種	回答数
建設業	2
製造業	1
情報通信業	3
運輸業、郵便業	3
卸売業、小売業	5
金融業、保険業	4
不動産業、物品賃貸業	2
宿泊業、飲食サービス業	1
生活関連サービス業、娯楽業	2
教育・学習支援業	1
医療・福祉	2
複合サービス事業	1
その他	1
未回答	1
合計	29

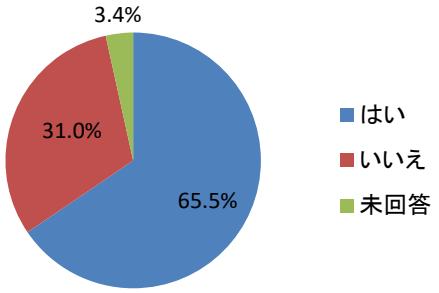


Ⅱ　調査項目

1　現在の企業（団体等）に、卒業後最初に就職した。

卒業後最初に就職した企業（団体等）に継続して勤務している者は 19 件（65.5%）であった。一方、転職を経験している者は 9 件（31.0%）となり、回答者の 3 割以上が転職経験者であることがわかった。

回答	回答数
はい	19
いいえ	9
未回答	1
合計	29

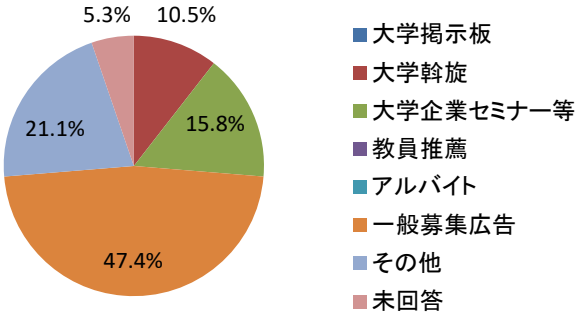


Ⅱ-1 で「はい」と回答された方（算出母数 19）：

（1）この企業を選んだきっかけは何ですか。

最も多かったのは、「一般募集広告」の 9 件（47.4%）であり、学生が企業情報の主な情報源として就職情報サイト等外部の媒体を活用していることがわかる。一方、「大学斡旋」「大学企業セミナー等」の合計が 5 件（26.3%）あり、学内における企業と学生とのマッチングの効果が出ていることがわかる。

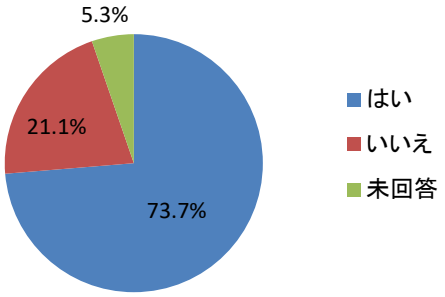
企業を選んだきっかけ	回答数
大学掲示板	0
大学斡旋	2
大学企業セミナー等	3
教員推薦	0
アルバイト	0
一般募集広告	9
その他	4
未回答	1
合計	19



（2）この企業は大学での教養教育が活かせていますか。

大学での教養教育が活かせていると回答した者が 14 件（73.7%）と、活かせていないと回答する者 4 件（21.1%）を上回った。

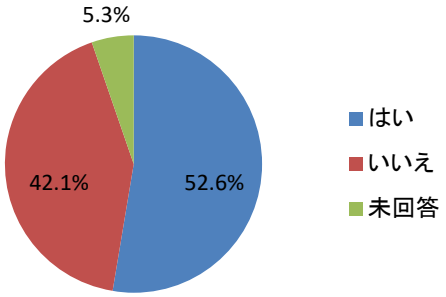
回答	回答数
はい	14
いいえ	4
未回答	1
合計	19



（3）この企業は大学での専門教育が活かせていますか。

大学での専門教育が活かせていると回答した者が 10 件（52.6%）と、活かせていないと回答する者 8 件（42.1%）を上回った。

回答	回答数
はい	10
いいえ	8
未回答	1
合計	19

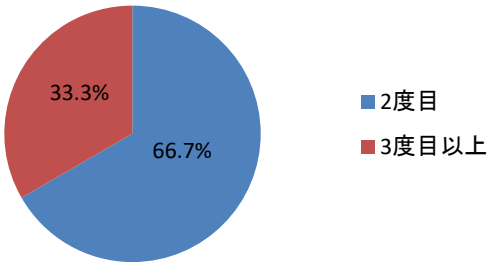


Ⅱ-1 で「いいえ」と回答された方（算出母数 9）：

（1）現在の企業は何度目の就職になりますか。

回答者のうち「2 度目」の就職と回答した者が 6 件（66.7%）と、「3 度目以上」と回答する者 3 件（33.3%）を上回った。

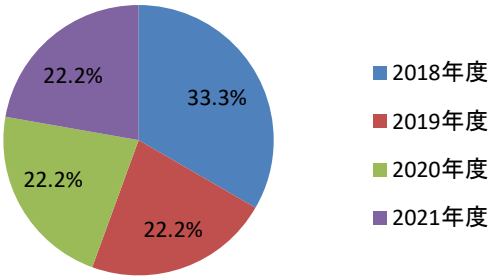
回答	回答数
2 度目	6
3 度目以上	3
合計	9



(2) 最初に就職した企業は何年何月に退職しましたか。

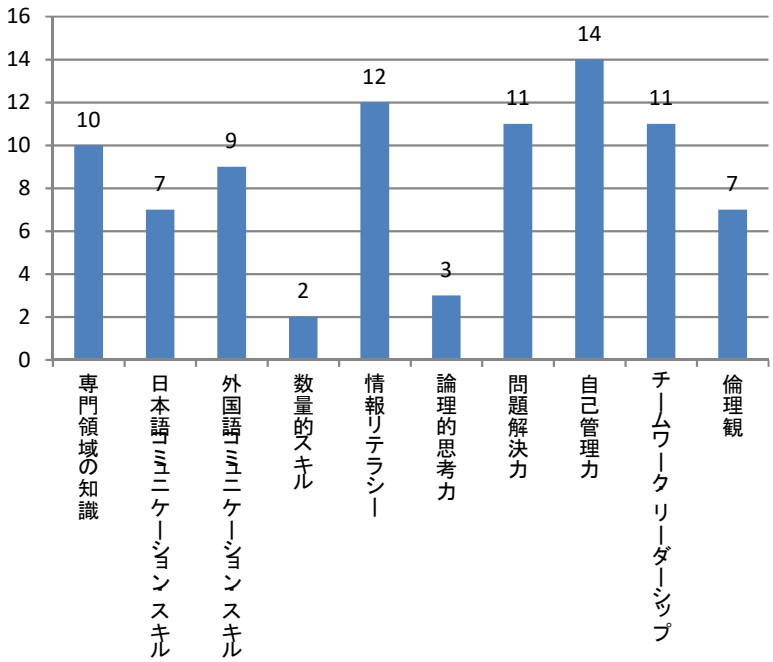
回答者のうち、「2018 年度（入社初年度)」に退職した者が 3 件（33.3%）と最も多かった。就業者（母数 29）に占める 3 年以内の転職者（母数 7）の割合は 24.1%であった。今回の調査では厚生労働省が発表した平成 30 年 3 月新規大卒就職者の就職後 3 年以内離職率の 31.2%を下回ってはいるが、入社初年度に退職した者が多いことから、在学中にいかに内定企業とのミスマッチを防ぐかが鍵となりそうである。

退職年度	回答数	備考（退職月内訳）
2018 年度(初年度)	3	2018 年　7 月 1 名 2018 年 12 月 1 名 他、2018 年退職月不明 1 名
2019 年度（2 年目）	2	2019 年　4 月 1 名 2019 年 12 月 1 名
2020 年度（3 年目）	2	2021 年　1 月 1 名 2021 年　3 月 1 名
2021 年度（4 年目）	2	2021 年　7 月 1 名 2022 年　3 月 1 名
合計	9	



2　明海大学卒業生の就業力を向上させる取り組みとして必要と思われるものを選んでください。(複数回答可)

就業力向上のための取り組みとして必要なものに「自己管理力」を挙げた者が 14 件（回答者の 48.3%）と最も多く、次いで「情報リテラシー」の 12 件（回答者の 41.4%）であった。一方で最も少なかったのは「数量的スキル」の 2 件（回答者の 6.9%）であった。

なお、その他の回答として「基礎学力、教養」・「Excel などパソコンの授業の本格化」・「キャリアサポートセンターの充実」などがあった。

回答	回答数
専門領域の知識	10
日本語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｽｷﾙ	7
外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｽｷﾙ	9
数量的ｽｷﾙ	2
情報ﾘﾃﾗｼｰ	12
論理的思考力	3
問題解決力	11
自己管理力	14
ﾁｰﾑﾜｰｸ・ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ	11
倫理観	7